

中小企業の夏季ボーナス支給状況

経団連がまとめた今夏ボーナスの調査結果(第2回集計、6月23日発表)によると、民間大手企業の平均受結額(加重平均)は75万9,728円で昨年夏に比べ0.46%の増加である。受結額の増加は3年ぶりとなる。

それでは、大阪の中小企業の状況はどうであろうか。当金庫取引先企業を対象にアンケート調査で探ってみた。

調査時点：2010年6月中旬

調査対象：大阪市信用金庫取引先企業(大阪府下一円)

調査依頼先数：1,136社

有効回答数：1,040社

有効回答率：91.5%

<有効回答の内訳>

業種	実数	構成比
製造業	482社	46.3%
卸売業	159	15.3
小売業	61	5.9
建設業	162	15.6
運輸業	67	6.4
サービス業	109	10.5
計	1,040	100.0

従業者	実数	構成比
20人未満	859社	82.6%
20~49人	145	13.9
50人以上	36	3.5
計	1,040	100.0

1. ボーナス支給企業割合

- 「支給する」企業は 51.0%

まず、この夏にボーナスを支給するかどうか聞いた結果(予定及び実績)が第1表である。

全体でみると、「支給する」企業は 51.0%である。これは本調査開始(98年)以来最低を記録した昨年の支給企業割合(56.7%)をさらに 5.7ポイント下回るものであり、支給企業割合が減少するのは3年連続となる(第1表-1、第1表-2)。

また、「支給しない」企業の内訳を見ると、「(ア)ボーナスは支給できないが、少額の手当を出す」とする企業は33.0%で昨年夏比2.5ポイント増加、「(イ)全く支給なし」とする最も厳しい状況の企業は16.0%で、同3.2ポイント増加している。この「(ア)少額の手当を出す」と「(イ)全く支給なし」とする企業割合は、それぞれ調査開始以来最多となる。

業種別にみると、「支給する」企業は小売業が4割程度(41.0%)で最も少ないのをはじめ、運輸業(46.3%)と製造業(48.9%)も初めて5割を切った。

従業員規模別にみると、「支給する」企業は規模が小さくなるほど少なくなっており、50人以上の88.9%に対し20人未満は46.5%と、その差異(42.4ポイント)は大きい。

第1表-1 ボーナス支給企業割合

区分		項目	支給する	支給しない	計		昨年夏比増減			
					(ア)少額手当	(イ)全くなし	支給する	支給しない		
							(ア)少額	(イ)なし		
業種別	製造業		48.9	51.1	35.5	15.6	100.0	7.2	4.2	3.0
	卸売業		58.5	41.5	29.6	11.9	100.0	5.4	3.9	1.5
	小売業		41.0	59.0	29.5	29.5	100.0	1.0	16.0	15.0
	建設業		55.6	44.4	32.1	12.3	100.0	3.5	0.6	2.9
	運輸業		46.3	53.7	35.8	17.9	100.0	3.7	1.9	1.8
	サービス業		51.4	48.6	28.4	20.2	100.0	4.5	4.1	0.4
規模別	20人未満		46.5	53.5	36.3	17.2	100.0	6.5	3.2	3.3
	20~49人		69.0	31.0	19.3	11.7	100.0	2.0	3.1	1.1
	50人以上		88.9	11.1	8.3	2.8	100.0	2.9	3.7	0.8
全体			51.0	49.0	33.0	16.0	100.0	5.7	2.5	3.2

第1表-2 ボーナスを「支給する」企業割合の推移

区分	時期(年)	(%、ポイント)												
		98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
「支給する」企業		93.8	76.4	70.3	72.1	62.9	64.0	65.8	68.4	68.5	68.5	65.6	56.7	51.0
対前年増減		-	17.4	6.1	1.8	9.2	1.1	1.8	2.6	0.1	0	2.9	8.9	5.7

2. 支給額

- 平均は 253,559 円

次に、前項で「支給する」と回答した企業(51.0%、530社)に対して、1人当たりの支給額(税込み)を聞いた結果(単純平均)が第2表である。

全体でみると、1人当たりの平均支給額は25万3,559円である。これは本調査開始(98年)以来最低を記録した昨年の平均支給額(25万5,100円)をさらに1,541円下回るものであり、支給額が減少するのはこれで3年連続となる(第2表-2、第2表-4)。

支給額の分布をみると、「20~29万円」(42.4%)が最も多く、次いで「20万円未満」(30.0%)、「30~39万円」(19.2%)と続いている(第2表-1)。

業種別にみると、支給額はサービス業と小売業を除く業種で昨年より減少しており、小売業が28万1,311円で最も多く、運輸業が22万3,648円で最も少ない。

従業員規模別にみると、支給額は規模が小さくなるほど少なくなっている(第2表-3)。

以上のように、支給企業割合(前項1)、支給額ともに調査開始以来の最低を更新し、今夏の中小企業のボーナス支給状況は極めて厳しい内容となった。

第2表-1 支給額の分布

(%)

区分 \ 項目		20万円未満	20~29万円	30~39万円	40~49万円	50~59万円	60~69万円	70万円以上	計
		業種別	製造業	36.9	41.5	14.5	4.2	0.8	1.3
卸売業	22.6		44.0	25.7	3.3	3.3	0	1.1	100.0
小売業	48.0		32.0	16.0	0	4.0	0	0	100.0
建設業	18.9		44.5	25.6	6.6	4.4	0	0	100.0
運輸業	19.4		48.4	16.1	12.9	3.2	0	0	100.0
サービス業	28.5		42.8	21.5	5.4	0	1.8	0	100.0
規模別	20人未満	31.5	41.8	18.5	5.1	1.8	0.8	0.5	100.0
	20~49人	26.0	49.0	18.0	2.0	3.0	1.0	1.0	100.0
	50人以上	21.9	31.2	31.3	12.5	3.1	0	0	100.0
全体		30.0	42.4	19.2	4.9	2.1	0.8	0.6	100.0

第2表-2 平均支給額〔業種別〕

業種等	平均支給額	昨年夏比
製造業	247,701	0.56%
卸売業	270,334	0.08
小売業	281,311	0.24
建設業	258,564	1.32
運輸業	223,648	2.70
サービス業	246,055	0.31
全体	253,559円	0.60

第2表-3 平均支給額〔規模別〕

従業員	平均支給額	昨年夏比
20人未満	247,630円	0.63%
20~49人	260,765	0.99
50人以上	320,698	0.88

第2表 - 4 平均支給額の推移

(円)

項目 \ 時期	98	99	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
平均支給額	26.7	27.1	263,021	259,412	266,914	255,962	257,577	258,883	261,643	263,789	262,823	255,100	253,559
対前年増減	-	0.4	9,779	3,609	7,502	10,952	1,615	1,306	2,760	2,146	966	7,723	1,541

(注) 1999年の支給額の単位は万円

3. 支給額を決める目安

- 「自社業績」重視(84.5%)が最多

次に、前項1で「支給する」と回答した企業(51.0%、530社)に対し、支給額を決める目安について聞いた結果(2つまでの複数回答)が第3表である。

全体でみると、「自社業績」を目安とする企業(84.5%)が8割を超え最も多い。次いで「前年の支給実績」とする企業が26.6%、「業界・他社など世間相場」とする企業は10.2%である。

第3表 支給額を決める目安

(2つまでの複数回答、%)

区分 \ 項目	自社業績	支給実績	世間相場	計
製造業	82.6	29.4	11.5	123.5
卸売業	84.9	26.9	9.7	121.5
小売業	84.0	32.0	4.0	120.0
建設業	88.9	23.3	8.9	121.1
運輸業	80.6	19.4	12.9	112.9
サービス業	87.5	21.4	8.9	117.8
20人未満	85.2	24.6	9.0	118.8
20～49人	86.0	31.0	11.0	128.0
50人以上	71.9	37.5	21.9	131.3
全体	84.5 (1.7)	26.6 (3.1)	10.2 (4.0)	121.3
2009年夏	82.8 (0.4)	23.5 (5.9)	14.2 (4.6)	120.5
2008年夏	82.4 (0.3)	29.4 (1.6)	9.6 (0.5)	121.4
2007年夏	82.7 (1.0)	27.8 (0.5)	10.1 (6.2)	120.6

()内は前年夏比(ポイント)

4. 支給時期

- 「7月中」が7割超

最後に、ボーナスを支給する企業(51.0%、530社)に対し、支給時期について聞いた結果が第4表である。

全体としてみると、「7月中」とする企業が75.2%で圧倒的に多く、「6月中」が14.1%、「8月中」が10.7%となっている。

第4表 支給時期

(%)

区分	時期	6月中	7月中			8月中	計	
			上旬	中旬	下旬			
全体		14.1	75.2	(26.2)	(24.9)	(24.1)	10.7	100.0
2009年夏		13.7	76.5	(30.4)	(25.3)	(20.8)	9.8	100.0
2008年夏		15.7	74.0	(32.3)	(24.0)	(17.7)	10.3	100.0
2007年夏		12.9	75.7	(28.0)	(28.3)	(19.4)	11.4	100.0
2006年夏		11.6	75.8	(25.3)	(28.3)	(22.2)	12.6	100.0
2005年夏		9.7	75.8	(24.2)	(27.8)	(23.8)	14.5	100.0
2004年夏		8.7	73.8	(23.2)	(26.0)	(24.6)	17.5	100.0